

続けなければ

たものも多い。序文には、中
学生だった中沢さんの作文の
一部が引用されている。

2011年、長田の教え子
いづみへる『原爆の子』を

きだが、子どもの現在の生活
うけつぐ金」が、発刊6年を
記念して原爆の子に関する作

文を長田の子どもたちが夢
集したとして、「（趙亨が生

いっした動きを踏まえ、渡
部さんは真紀さんに「はだし

のうちは中沢さんの集大成。
うなつた」との感想が寄せら

れた。「原爆の子を知りたい」
という声もあった。

真紀さんはこの日、渡部さ
んと爆心地から約10キロの広島

城を訪ね、原爆の熱線や放射
線被害を生き延びた「被爆樹

木」などを見て回った。「あ
りのまま」を伝えたい時代

になりつつあるから、そ、被
爆地で起きたことを粘り強く

も感じる。広島大教授だった
長田が被爆した子どもたちの

作文を集め、1951（昭和
26）年に世に出た原爆の子。

長田が被爆した子どもたちの
つが被爆者が一人もいなくな

ったとしても、その時に生き
ていく人間が広島や長崎、そ

してあの戦争と向き合ってい
く必要がある」

はいないか」。

中沢さんが亡くなった12

年、松江市議会に「はだしの
子どもの歴史認識を問題視する

市民から、小中学校図書室か
らの作品の撤去を求める陳情

があった。市議会は不採択と
したが、市教育委員会は「1

部に過激な描写がある」とし
て、自由に関与できない関係

の措置を取るよう市立小中
校に要請した。大阪府泉佐野

市教委は14年、差別的表現が
多いとして、市長の要請で学

校から作品を回収。いづれも
批判を受け、要請や回収を取

りやめた。

市立
市立
市立

市立
市立
市立

市立
市立
市立

市立
市立
市立

市立
市立
市立

市立
市立
市立

市立
市立
市立

市立
市立
市立

市立
市立
市立

戦争描く作品 想像力伸ばす手がかり

図書館での閲覧制限や平和
戦争について理解を深め、

記憶を継承するために、日本
戦後教育による、昭和

から平成に移った頃から、戦
後の日本社会で一般的だっ

た戦争を反響する一という考え
れられている」と指摘。戦争を描

いた漫画や映画などの「ポピ
ュラー文化」が「子どもた

ちの想像力を伸ばす手がかり
になるのではないか」とし

てゐる。

てゐる。と指摘す
る。